

横須賀で青少年・少女釣り大会

全磯連・日釣振両神奈川支部

参加者らマダイ稚魚の放流を体験

全日本磯釣連盟神奈川支部は、「第25回青少年・少女釣り大会」を7月23日(日)、神奈川県横須賀市の海辺つり公園で開催した。(公財)日本釣振興会神奈川支部も共催し、参加した子どもたちの手でマダイ稚魚の放流も行われた。

当日は真夏の青空が広がる晴天のもと、1000名の子ともたちが参加。保護者やスタッフらが見守るなか、子どもたちは竿を出し、大物を狙ってアタリを誘った。



横須賀市海辺つり公園で釣りを楽しむ参加者

日釣振神奈川支部長は家族で参加した少年の装備に注目、その佇まいから「ベチ釣り師」と思われ、「何時もこの道具で釣りをやっているの?」と声を掛けると、「何時もやっているよ、昨日は本物の釣り公園に行ったんだ」と答え、話をしていくうちに「うわ、本物の山口プロだ!」と驚いた。

J・COMの釣り番組「釣りたいっ!」のメンバーを務める山口充と話をしていると、「何時もやっているよ、昨日は本物の釣り公園に行ったんだ」と答え、話をしていくうちに「うわ、本物の山口プロだ!」と驚いた。



各部門で表彰を受けるちびっ子たち。夏休みスタートの貴重な思い出。

「昨日のイサキ釣りもずっと見てたんですよ」と、番組のファンだと話した。

「へち釣り少年の様子を見守った山口氏は、釣り方も上手で、子どもの適応力は高く、小さい体にも竿使いを合わせるよう自然に覚えてる印象。針と糸でシンプルな自作仕掛けで数を釣っていた」と驚いた。しかも、ハリスの切れ端を飛ばさないようポケットに入れる様子にも感心。近くの子ともたちもその姿を見て真似していた。



へち釣り少年と山口支部長

この日は、マアジ、コノシロ、キシハタ、ワニゴチ、マダコ、カサゴ、オコゼ、ダツ、ハオコゼ、ウミタナゴなど多彩な釣果が見られ、釣った数ではなくサイズによって表彰が行われた。

この日は、マアジ、コノシロ、キシハタ、ワニゴチ、マダコ、カサゴ、オコゼ、ダツ、ハオコゼ、ウミタナゴなど多彩な釣果が見られ、釣った数ではなくサイズによって表彰が行われた。

「釣果だけでは子どもたちとの交流を通じ、」釣果だけではなくサイズによって表彰が行われた。山口氏は大会で出会った子どもたちとの交流を通じて、「釣果だけではなくサイズによって表彰が行われた。」



マダイ稚魚の放流体験も実施